



カルビーグループ決算説明会

2022年3月期第1四半期

2021年4月1日～2021年6月30日

TSE code : 2229

カルビー株式会社

2021.8.5

2022年3月期第1四半期の期首より、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等の適用により、これまで販売管理費に計上していた一部の販売費（リベート等）を売上高から控除しております。

総売上高・・・一部の販売費を控除する前の売上高

純売上高・・・一部の販売費を控除した後の売上高

この変更に関する本資料における取扱いは以下のとおりです。

	2022年3月期 第1四半期	2021年3月期 第1四半期
総売上高 製品別売上高 地域別売上高	従来どおり	従来どおり
リベート等控除	総売上高から控除する 一部の販売費	なし (販売管理費に含まれる)
純売上高	総売上高から 一部の販売費を控除	なし
営業利益	従来どおり	従来どおり
営業利益率	総売上高を分母として計算	総売上高を分母として計算

2022年3月期第1四半期業績

掘りだそう、自然の力。

Calbee

決算サマリ

- **総売上高** 国内、海外いずれもスナック好調により増収
- **営業利益** 国内は増収効果および販売費の抑制により増益
海外は前年巣ごもり需要および販促機会減少の反動により減益となるも計画達成
- **当期純利益** 営業利益の伸長に加え、為替影響、税額の減少等により大幅増益

(億円)

	2022年3月期 第1四半期実績	2021年3月期 第1四半期実績	伸び率	2022年3月期 第1四半期計画	計画比
総売上高	674	644	+4.6%	657	102.5%
純売上高	599	—	—	581	103.1%
国内総売上高	523	515	+1.6%	513	101.9%
純売上高	465	—	—	455	102.0%
海外総売上高	151	129	+16.7%	144	104.9%
純売上高	134	—	—	125	107.2%
営業利益	69	66	+5.9%	63	110.1%
営業利益率（対総売上高）	※1 10.3%	10.2%	+0.1pts	9.6%	+0.7pts
国内	63	56	+13.2%	57	111.1%
海外	6	9	△37.2%	6	101.1%
経常利益	70	64	+9.7%	62	113.8%
特別損益	△0	△1	—	△1	—
当期純利益 ※2	50	41	+22.3%	40	123.8%

※1 営業利益率（対純売上高）は11.6%

※2 親会社株主に帰属する当期純利益

- **総売上高** <スナック> 期間限定品の発売や包装形態の多様化により「じゃがりこ」が増収に大きく寄与
 <シリアル国内消費向け> 前年巣ごもり需要の反動により減収
 <シリアル海外輸出> 商流変更（中国子会社への売上移管）による減収△4億円
 <その他> 甘しょ事業が拡大
- **営業利益** パーム油価格の高騰があったものの、増収効果およびスナックの販売費抑制により増益

(億円)

	2022年3月期第1四半期		
		前年同期比	
国内総売上高	523	+8	+1.6%
スナック	429	+15	+3.7%
ポテトチップス	196	+1	+0.7%
じゃがりこ	90	+12	+14.7%
新価値商品・その他スナック	142	+2	+1.5%
シリアル（国内消費向け）	63	△9	△12.9%
シリアル（海外輸出）	3	△4	△54.4%
その他（甘しょ・馬鈴しょ・役務提供）	28	+6	+30.0%
リベート等控除	△58	—	—
国内営業利益	63	+7	+13.2%
営業利益率	※ 12.1%	+1.2pts	—

※営業利益率（対純売上高）は13.7%

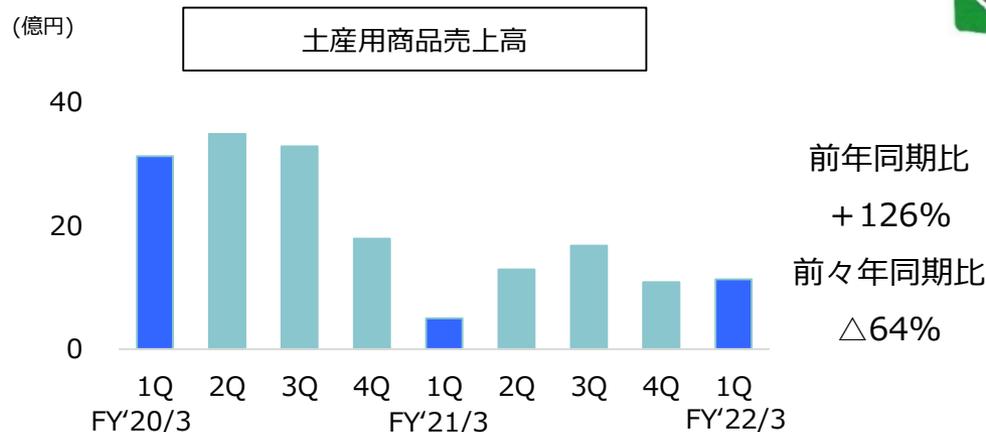
スナック

ポテトチップス：馬鈴しょ不足懸念が解消した5月下旬以降、販促を強化しシェア回復
「堅あげポテト」への高い需要は継続

じゃがりこ：期間限定品の積極投入
「bits大盛り」や「大人のじゃがりこ」など
包装形態の多様化により増収

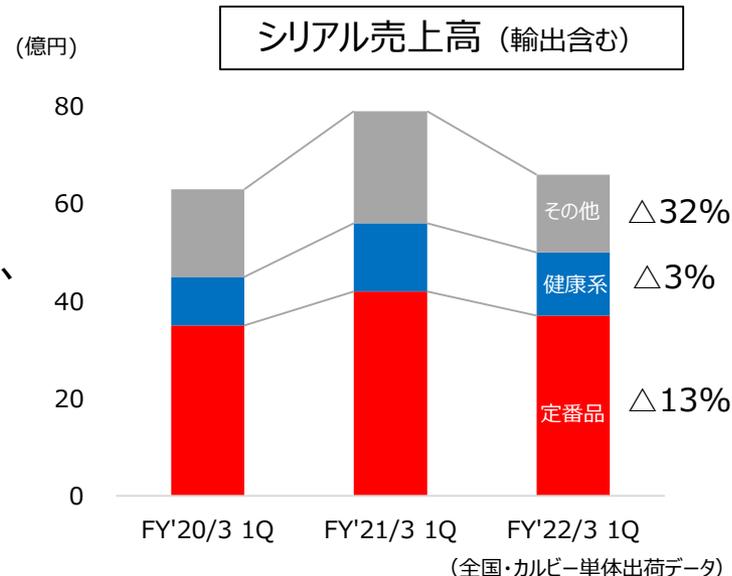


その他スナック：TVCFを投下したmiinoが好調
土産用商品はインバウンド・国内旅行者数の低調が
続いているが、物産展への積極的な出店により増収



シリアル

- 前年巣ごもり需要の反動、オートミールブーム
および競合の攻勢により減収
- 健康訴求・機能訴求系は堅調
- 第2四半期以降も健康訴求・機能訴求系への注力、
フルグラビッツでの間食需要の取り込みをめざす



その他

甘しょ事業：TV番組で話題となり、卸販売および直営店舗販売いずれも伸長



かいつかオリジナルブランド
『紅天使』



蔵出し焼き芋かいつか
かすみがうら本店

2022年3月期第1四半期業績 海外事業

掘りだそう、自然の力。

Calbee

(億円)

＜地域別実績＞	2022年3月期第1四半期			
		前年同期比		為替影響除く 実質伸び率
海外総売上高	151	+22	+16.7%	+7.9%
北米	40	+4	+12.6%	+10.3%
中華圏	42	+2	+4.3%	△4.3%
英国	19	+4	+23.6%	+7.1%
インドネシア	14	+5	+59.7%	+49.2%
その他	36	+7	+22.4%	+10.3%
リポート等控除	△17	—	—	—
海外営業利益	6.0	△3.5	△37.2%	—
営業利益率	※ 3.9%	△3.4pts	—	—
北米	0.5	△0.6	△50.9%	—
中華圏	2.6	△2.3	△46.7%	—
英国	△0.2	△0.4	—	—
インドネシア	△0.5	+0.1	—	—
その他	3.5	△0.5	△11.9%	—
＜製品別実績＞				
スナック	133	+23	+21.2%	—
シリアル	18	△2	△8.5%	—

※営業利益率（対純売上高）は4.4%

北米

■ 売上

- ・「Harvest Snaps」はダラーストア業態への小袋配荷拡大により好調
- ・Warnockはストアブランド（PB）の取扱いアイテム数増加により伸長

■ 営業利益

- ・前年販促機会減少の反動により減益

中華圏

■ 売上

〈スナック〉

- ・Honey Butter ChipsやJagabeeがEC・小売店舗向けともに好調

〈シリアル〉

- ・前年巣ごもり需要の反動減および競争激化により減収

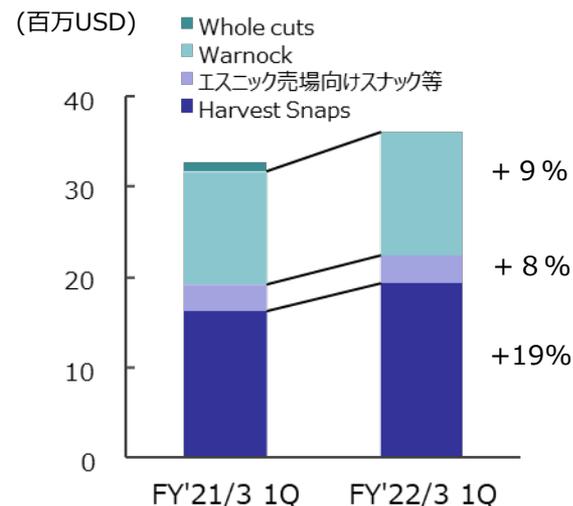
■ 営業利益

- ・減収影響およびKOLを活用したプロモーションを強化したことにより減益

■ リカバリー施策

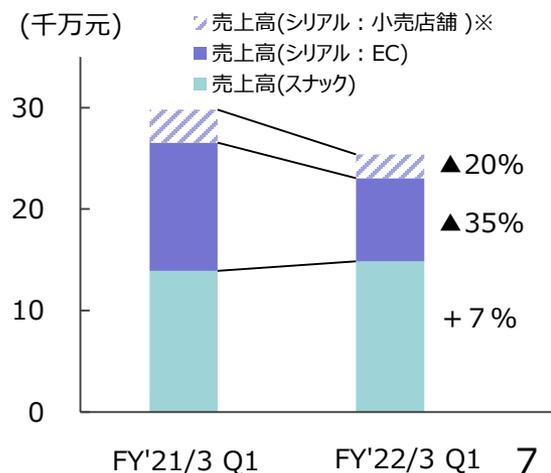
- ・大型会員制スーパー向けにスナックアソート商品発売
- ・知名度の高い代言人（ブランドアンバサダー）起用でフルグラ購買喚起

北米 売上高（前年同期比+10%）



中華圏 売上高（※ 前年同期比▲4%）

※前年国内輸出を含めると▲14%



英国

■ 売上

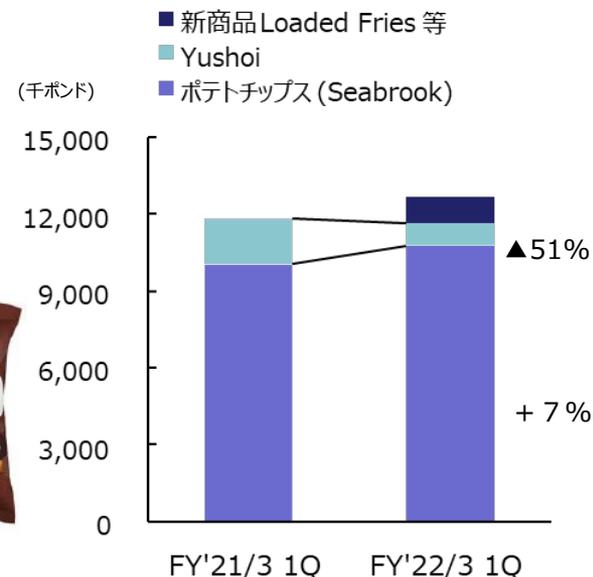
- Seabrookブランドのポテトチップスが堅調
- 新商品Loaded Fries、Loaded Bites発売により、スナックも増収

■ 営業利益

- 原材料価格高騰により減益



英国 売上高 (前年同期比+7%)



インドネシア

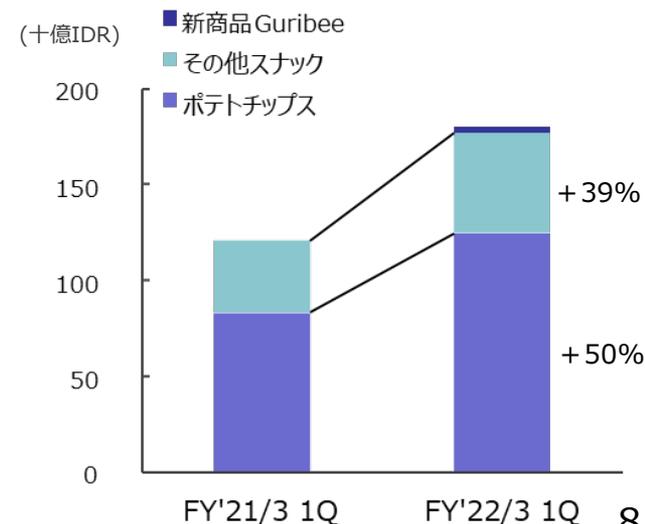
■ 売上

- ポテトチップスJapotaの新フレーバー発売及びPotabee好調により売上拡大
- 前年は、新型コロナウイルス影響による原材料調達遅延等が発生
- 新商品Guribeeは上市するも供給面に課題あり

■ 営業利益

- ポテトチップスの増収効果により赤字縮小

インドネシア 売上高 (前年同期比+49%)

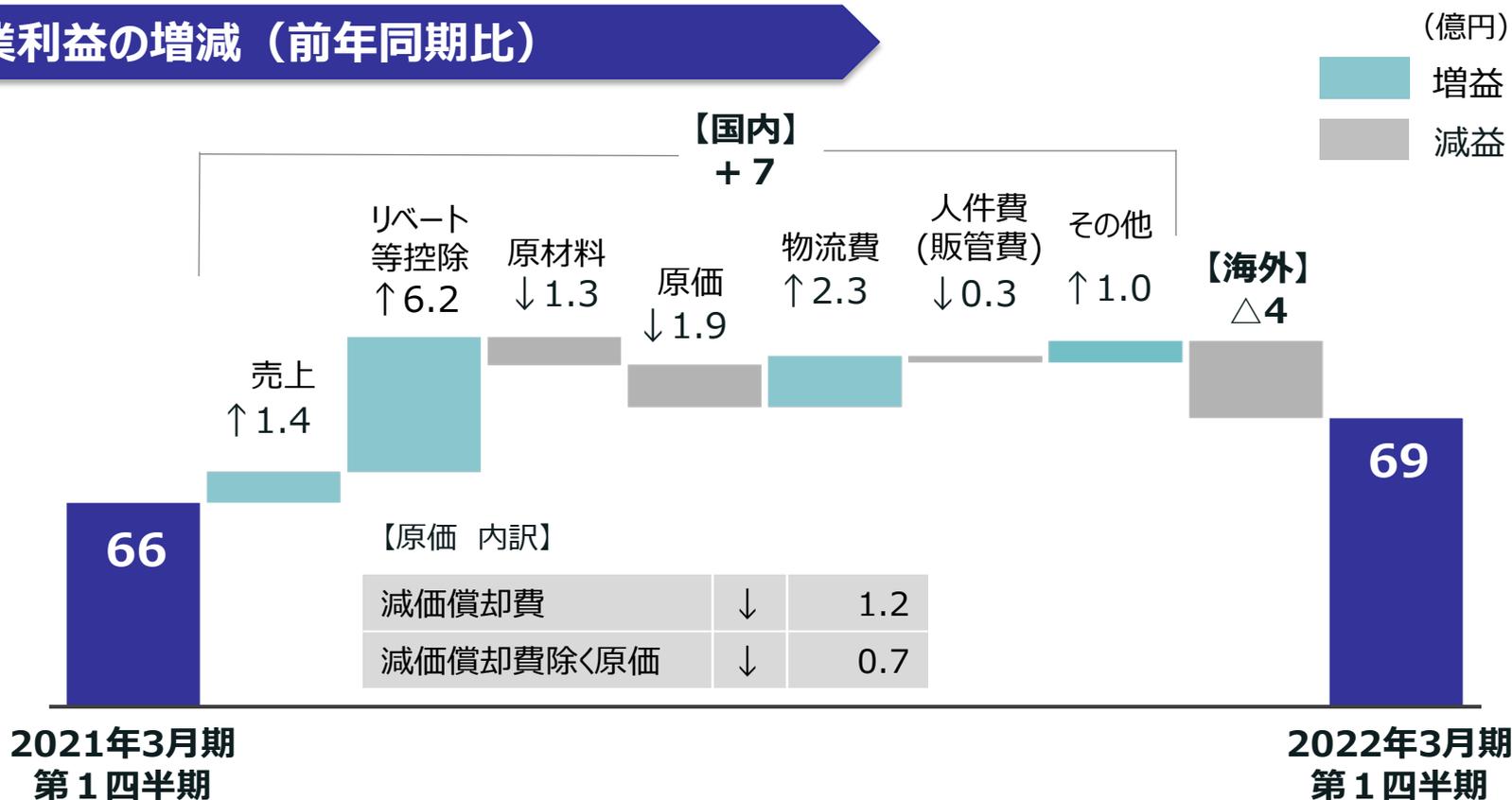


2022年3月期第1四半期 営業利益分析

掘りだそう、自然の力。



営業利益の増減（前年同期比）



【国内】

- レポート等控除 : スナックの販売費抑制
- 原材料費 : パーム油価格の高騰により悪化
- 物流費 : ポテトチップス欠品・休売による追加コスト（前年）

參考資料

連結損益計算書

掘りだそう、自然の力。

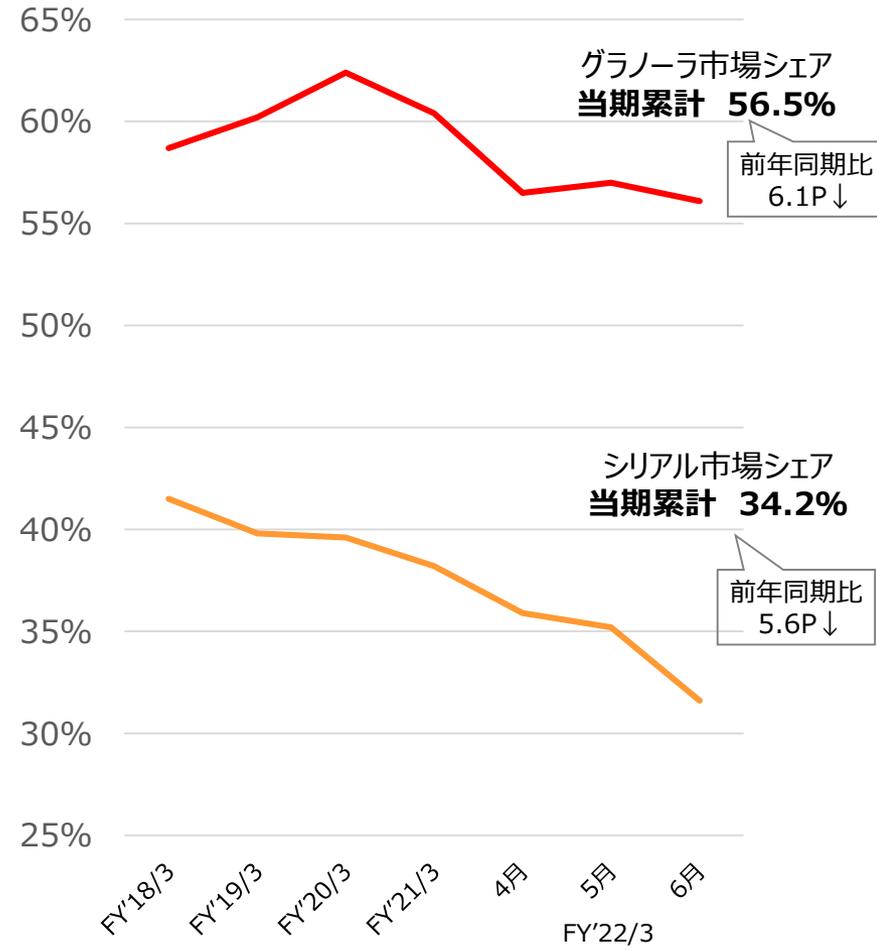
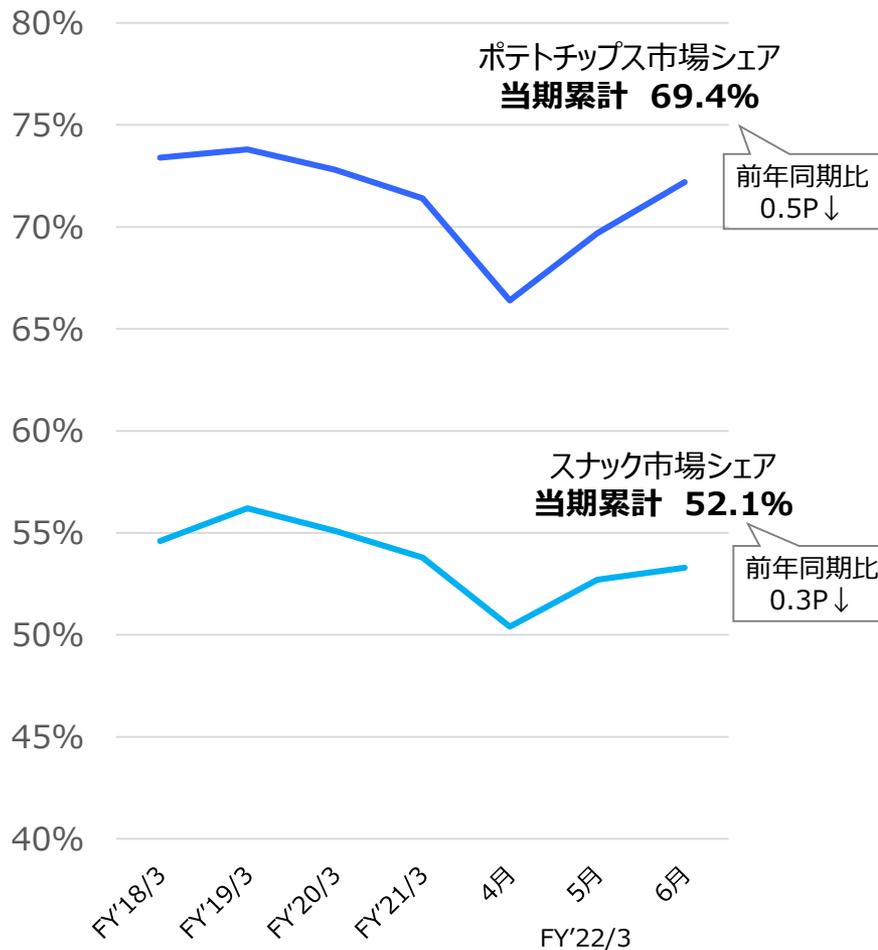
Calbee

(百万円)

	2022年3月期 第1四半期実績				2022年3月期 通期計画		
		構成比 (%)	前年同期比 (%)	計画比 (%)		構成比 (%)	前期比 (%)
総売上高	67,353	100.0	—	102.5	275,000	100.0	—
リベート等控除	7,457	11.1	—	97.7	35,000	12.7	—
純売上高	59,896	88.9	—	103.1	240,000	87.3	—
売上総利益	21,208	31.5	—	103.2	87,800	31.9	—
販売管理費	14,269	21.2	—	100.1	59,800	21.7	—
販売費	2,008	3.0	—	100.4	8,400	3.1	—
物流費	4,751	7.1	△2.6	101.3	19,800	7.2	+2.9
人件費	4,764	7.1	+4.7	101.2	20,100	7.3	+4.0
その他経費	2,745	4.1	+1.8	96.0	11,500	4.2	+8.4
営業利益	6,938	10.3	+5.9	110.1	28,000	10.2	+3.5
経常利益	7,034	10.4	+9.7	113.8	27,500	10.0	△0.1
特別損益	△38	—	—	—	△500	—	—
当期純利益 ※	4,953	7.4	+22.3	123.8	18,000	6.5	+1.8

※親会社株主に帰属する当期純利益

■ 国内市場シェア



出所：(株)インテージSRI+ 全国全業態 金額ベース
2021年3月期より(株)インテージSRI+の設計・推計方法が変更されたため、2020年3月期以前の数値を新推計方法に基づき修正しています。

当期累計：2021年4月～2021年6月
前年同期：2020年4月～2020年6月
FY'18/3-FY'22/3：2017年4月～2021年6月

スナック市場シェア：カルビーとジャパンフリトレーの合計
ポテトチップス市場：ポテトチップス(生薄切り・生厚切り)・ポテトシュースト・ケトル合算、非公開PB含む
グラノーラ市場：シリアル市場・グラノーラカテゴリ

本資料に関するお問い合わせ：

カルビー株式会社 IR課

E-mail：2229ir@calbee.co.jp

<https://www.calbee.co.jp/ir/>

- グラフ上の事業年度表記はFY(Fiscal Year)を用いています。FY2022/3(FY'22/3)は2022年3月期を指しており、他の事業年度も同様に表記しております。特にその指定がない表記は、暦年を表しています。
- 本資料に掲載されている、当社の現在の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に係る見通しであり、これらは、現在入手可能な情報から得られた当社の判断に基づいております。当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因によって、大きく異なる結果となる可能性があります。
- 本資料には、監査を受けていない参考数値が含まれます。